

平成27年3月12日弥彦村議会全員協議会

開 会 午前11時35分

出席者 議員全員、村長、各課（室・所）長、総務課参事

総務課企画調整係長

議会事務局長、書記

本間議長 本会議に続きまして、弥彦村議会全員協議会を開会いたします。まず、村長よりご挨拶をお願いいたします。

村 長 引き続き、全員協議会を開催していただきまして、ありがとうございました。毎晩起きますが、外が真っ白くなっておりまして、除雪車を出さなくてはならないかと非常に懸念いたしました。おさまりましたので、ほっとしております。風があまり出ない方が助かりますので、これから春になってほしいと思います。

本間議長 ありがとうございました。それでは、協議事項について理事者側から説明をお願いいたします。

村 長 ご説明させていただきます。1番目に書いてございます、平成27年度事業説明についてのおもてなし広場、子育てファンド、総合行政調査委託費、木質バイオマス発電調査委託費は、すべてお願いした案件でございます。村の中でも、どなたが担当されるか決まっております。従いまして、皆さんに提出する資料も出来ておりませんので、私の口頭説明でご了承願います。

まず、おもてなし広場でございますが、グランドホテル跡地を活用いたしまして、とりあえず弥彦神社ご遷座百年でお見えになる参拝客の皆様、弥彦流のおもてなしをさしあげる、農業と観光の一体のきっかけにしたいと思っております。調査をしていただいておりますが、非常に難しいことも出て来ております。特に、山側が急傾斜になっておりまして、今年度に予算をお願いしております3,000万円では、ならずことはできません。5月までに仮オープンしたいと思っておりますが、物理的に不可能でございまして、安全を確保したうえで、塀をそのまま、人が絶対に入れないようにして、残り3分の2の用地を使ってなんとかできないかとお願いしてあります。具体的な作業は、定例会で承諾いただいて、3,000万円の予算を承認いただいてから、執行いたしますので、4月以降になると思います。仮オープンについては、ある程度の建物を建てることは現実問題として無理なので、大型テントを活用して、オープンしたいと考え

ております。運営者については、最初から私の頭の中にあったことですが、第3セクター、NPOではなくて、株式会社をつくって、株式会社に運営をお願いしたいと考えております。5月仮オープンを実現させるためには、すでに動いておりませんと、間に合いませんので、民間の方に、株式会社の設立をお願いしてありまして、現実問題としてすでに登記も終わっていると思います。新会社の名前は、株式会社さやや、「さ」は桜井郷のさ、「や」は弥彦のや、「や」は弥彦のや。聞きましたら、明治時代に現在の弥彦村ができる前の弥彦村の頭文字をとったと聞いております。非常にやさしい名前になりました。資本は510万円で、スタートします。私は、補助金は村としては一切出しません。賃貸料を払ってくださいとお願いしております。民間会社であるならば、あたり前のことなので、そのようにやっていただきたいと思います。非常に難しいので、特に冬期間、まだ、弥彦村では農産物ができてまいりませんので、検討してもらっています。私としては、出資も役員に名も連ねたかったのですが、村有地をベースに事業をするのに、出資をすること、役員として名を連ねることは、適当でないということになりまして、私はアドバイスをすることになりました。特に、弥彦に来た皆さんに、お昼ごはんを食べる場所をなんとかして作りたいと思います。本格的なオープンは、9月下旬、新米がとれる後になると聞いております。

続きまして、子育て支援ファンドでございます。弥彦の人口がだんだんと減っております。若い方の流入が少なくなっていると思っております。弥彦村に来て、住んでいただきたい。そのためには、魅力的な村づくりが必要で、あるいは魅力的な支援制度が必要だと考えまして、1,000万円と多額でございますが、このぐらいしないとアピール出来ないと考えております。具体的にこのファンドを使ってどのような事をするかということにつきましては、新年度に入りまして、委員会をつくりまして、お母さん方を中心にした委員会でございます。そこで、もちろん行政も関与いたしますが、若いお母さん方が、今何をほしいのか聞きまして、新たなサービスを立ち上げていきたいと思っております。私自身、この子育てファンドがうまくいくか否かは、委員長の運営、手腕にかかっていると思っております。この委員長につきましては、民間から、しがらみのない村外の女性の方から就任していただきたいと思っております。人選の打診を始めております。

続きまして、総合行政調査委託費 300万円につきましては、弥彦村役場15代の半間村長以来、全部役場出身の方が村長を務めていただいています。同じ

組織、同じ思考組織の中で60年近くも村政を担当しておりましたはずみが出て来ていることは、間違いのないことなので、そういった面も含めまして、行政のプロに弥彦村の組織が適正であるか、ここで1回全部明らかにしてほしいと思っております。公表するのは、内容次第だと思っております。

次に、木質バイオマス発電調査委託費については、できれば設立発起人総会を開いて本年度からスタートさせたいと思います。現実問題として、無理でございますので、調査費だけにおさえた予算要求をいたしております。ただ、私が就任いたしましたから、中越よつば森林組合の会長さんを含めて、幹部の皆さんがお見えいただきまして、お話を伺いました。よつば森林組合さんは、今三条市で計画を進めていられます。下田で1時間に5千kwの電力を発電するプロジェクトに参画しておられますので、木質バイオマス発電についてよく御存じでいられます。弥彦村の森林面積は740ヘクタールで、蓄積の木材量は24万トンということをお伺いしました。弥彦村だけですので、国上山、他宝山、角田山を含めると、なんとか200kw、300kwの発電所の建設は可能ではないかと考えております。この事業によって儲けるつもりは全くありませんので、この事業を核として弥彦村の農業をかえて、新しい弥彦村づくりの中核にしたいと考えておりますので、木材の蓄積量から考えますと、300kw程度の発電所の建設は可能であると考えております。200万円の予算を認めていただきましたら、それをもとに詳細な調査に入りたいと思っております。

本間議長 ありがとうございます。続いて、説明をお願いします。

(企画調整係長 公共交通住民説明会の結果、定住自立圏共生ビジョン  
についての説明)

本間議長 説明がありました。①につきましては、次回の委員会の中で、質問してもらおうということで、③については、了解をしてほしいということです。質疑があれば、お受けします。ご質疑はございませんか。花井委員。

花井委員 共生ビジョンはどなたがどういうふうに、選ばれた委員なのか。

本間議長 坂爪さん。

企画調整係長 共生ビジョンの懇談会の委員さんは、資料の最後に名簿がのっております。合計10名で、燕市から7名、弥彦村から3名となっております。各種代表で、全くの住民代表というよりも、弥彦村から選んでいるのは、区長会長さんと観光面ということで、おかみ会のメンバー、学校評議員の方を村から推薦させていただいて、選任いたしました。この方たちとビジョンの懇談会を策定まで、3回開催いたしました。正式に懇談会の案としてパブリックコメ

ント、住民の意見募集を受けたうえで、この資料が出来上がっております。

花井議員 燕市は、どのように選んだのですか。

企画調整係長 燕市の選び方につきましても、はっきりと申し上げることはできないのですが、産業面などの代表の方を市内で選任されたのではないかと考えております。

花井議員 燕市と弥彦村で話し合いや連携はないわけですか。

本間議長 坂爪さん。

企画調整係長 10名選ぼうという相談をしたなかで、人数の比率でいうと、燕7、弥彦3と、まず打ち合わせをしまして、そこで弥彦村から選任するのにふさわしい方を検討した結果でございます。選任方法の相談ということになると。

花井議員 こういう方を選ぶことが一般的ということは、問題のあることです。

本間議長 他にございますか。本多議員。

本多議員 今日の協議会で承認をするということですか。

本間議長 坂爪さん。

企画調整係長 今回の議会で皆様からお認めいただくことによって、正式に案をとって共生ビジョンとして、これをもとに27年度から事業をスタートするということです。

本多議員 お見せいただいて、即決認めてくれと言われても無責任になりますので、会期の末日までにお時間をいただいて、再度全員協議会を開いていただいて、承認をするということに、取り計らい願いたいと思います。

村長 今、花井議員からのお話でございますが、私はガラス張りの村政をかかげておりまして、こういう案件につきましては、だれでもわかるようにしたいと思いますので、ご了解いただきたいと思います。昨日、麓2区で政懇談会をさせていただきました。そのときの質問の中には、きららん号を早くしてもらえないか。燕市でして、弥彦になくて、非常にいいということを知っているから、早くしてほしいという声があったことをご報告させていただきます。

本間議長 他に、ございますか。志田議員。

志田議員 評議委員の中で、弥彦村の中から3人出ていますが、個人ではなくて、あて職なのか。

本間議長 坂爪さん。

企画調整係長 今回の選任については、あて職。職でいっております。区長会

長については、区長会長という立場から出ていただいております。おかみ会のメンバーと学校評議員は複数おりますので、その方たちは、個人に出しております。

本間議長 他に、ございますか。さきほど、本多議員からご意見がございましたが、いかがですか。

志田議員 今会期中に、もう1度これについて、協議会を開いて、質疑をして、了解してくれということです。本多さんが言われたように、もう1回内容について、質疑する場面をつくっていった方がいいと思います。

本間議長 時期をみて、もう1回審議するというところでよろしいですね。

(「はい」と言う人あり。)

本間議長 その他ございますか。志田さん。

志田議員 冒頭、村長が説明したものは、委員会ということでしょうか。

本間議長 常任委員会の中で質問していただくということよろしいですね。

村 長 はい。議会の皆さんから。

本間議長 花井さん。

花井議員 民間活力可能性調査結果の回答がでております。これだけのものをひょっと出されて、ある程度審議の期間をおいてもらって、検討させてもらわなくてはなりません。難しい中身です。読み通すだけでも、時間がかかります。わかりません。時間を何回かもってもらって、そのうえで。

志田議員 先回るとき、内容がよくわからないので、議員間で、どういうことが聞きたいかということで、会議がありました。議会の総意として出したわけです。その回答が今でたということです。別に、それでいいと思います。

本間議長 花井さん。

花井議員 議会での質問は、限られています。初期投資で10億円はどうかとか、応募してきた業者によると、国県を含めた積極的な支援策が必要だと書かれています。具体的にどういうことをいっているのか。5カ年ごとの社会情勢の変化によって、見直しをはかると書かれているが、話し合いが成立すればよいが、成立しない場合もありうるだろう。その場合は、すでにはじめた事業に対してどうなるのか。いろいろな疑問や意見があったわけです。その懇談会にたいして、執行部は誰も出て来ていない。業者はもちろん。それでは、検討になりません。検討してから、2か月あります。ある程度説明できる範囲で、説明するべきだと思います。だれもでてきていません。今まで、議員懇談会で、村長、副村長、総務課長が出てこない議員懇談会はありませんでした。やる気が

あるのかどうか、という感じを持ちました。しっかりと、600万円もの予算の承認を議会にもとめて、その承認をさせておいて、懇談会の席に出てこないのは、おかしいと思います。

本間議長 他に、ございますか。武石議員。

武石議員 この回答は、どなたが書かれたのですか。

本間議長 坂爪さん。

企画調整係長 私が回答を作成いたしました。上司にも確認してもらっております。

本間議長 他に、ございますか。 ( なし )

理事者側、退席お願いいたします。

ありがとうございました。

議会側の説明を求めます。

(議会事務局長 県町村議会議長会定期総会の報告、平成27年度議会関係行事予定の説明)

本間議長 ありがとうございました。以上で、すべての説明は終わりました。

これで、全員協議会を閉会いたしたいと思います。長時間大変ご苦労でした。

(閉会 午後0時35分)